

管理機関名：津山商工会議所

プロジェクト名

## 金属・機械企業連携による次世代インフラ参入及び自動化支援事業

事業の背景（地域の産業集積やグループの強み・特性、市場が抱える課題・ニーズ等）

### ■地域の産業集積やグループの強み・特性

岡山県津山市には高い技術を有する金属加工業、機械器具製造業が多数集積しており、特にサンタリー分野、耐震配管、製造装置など特定の分野で高いシェアを有しており、地域産業の中核を担っている。津山地域の金属産業の更なる潜在力を引き出すため、「津山ステンレス・メタルクラスター」(37社)を地域産業のけん引役と位置付け、全国の製造業の高度化と自動化を支える存在への進化を目指している。

### ■市場が抱える課題・ニーズ等

次世代の成長分野として水素、バイオ、水処理、医療、航空、インフラなどの産業が挙げられているが、これらはいずれも金属加工技術が鍵となっている。また、生産人口が減少する中、日本の製造業を支える中小工場の自動化・省力化は喫緊の課題であり、ニーズに基づいた開発、導入サービスが求められている。

事業の狙い（製品／市場・用途、提供する価値、新規性・優位性等）

### ■製品／市場・用途

#### 【水素・水道インフラ】

- ・水素の製造・供給に用いられる配管、継手、部品等
- ・施工性と漏水防止を兼ね備えた水道、建物インフラ配管、消火栓設備、継手等

#### 【自動化・省力化機械】

- ・中小企業の自動化・省力化を促進するラインの設計、製造、導入
- ・自動化・省力化機械・器具(主に中山間地の小規模農林業向け)

### ■提供する価値、新規性・優位性等

- 水素・水道インフラ:技術力を活かした信頼性の高い製品
- 自動化・省力化機械:現場ニーズに即した機械・器具の開発、製造
- 地域内連携による最終製品の一貫生産

連携・グループ化の目的・期待効果

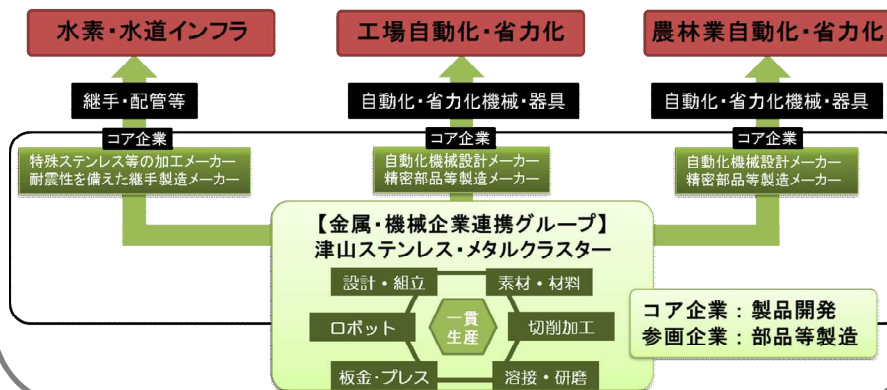
From (技術、製品、仕組み、販路等)

To (技術、製品、仕組み、販路等)

津山地域の高い技術力

- 金属加工技術(切削、板金、溶接、研磨等)
- 素材技術(鋳造、粉末冶金)
- 機械設計、ロボット技術

## 新たな市場への参入、新製品・サービスの創出



## この事業実現のためのキーファクター

### 1. 技術力の更なる向上

生産技術(生産性向上)  
加工技術(特殊ステンレス等)

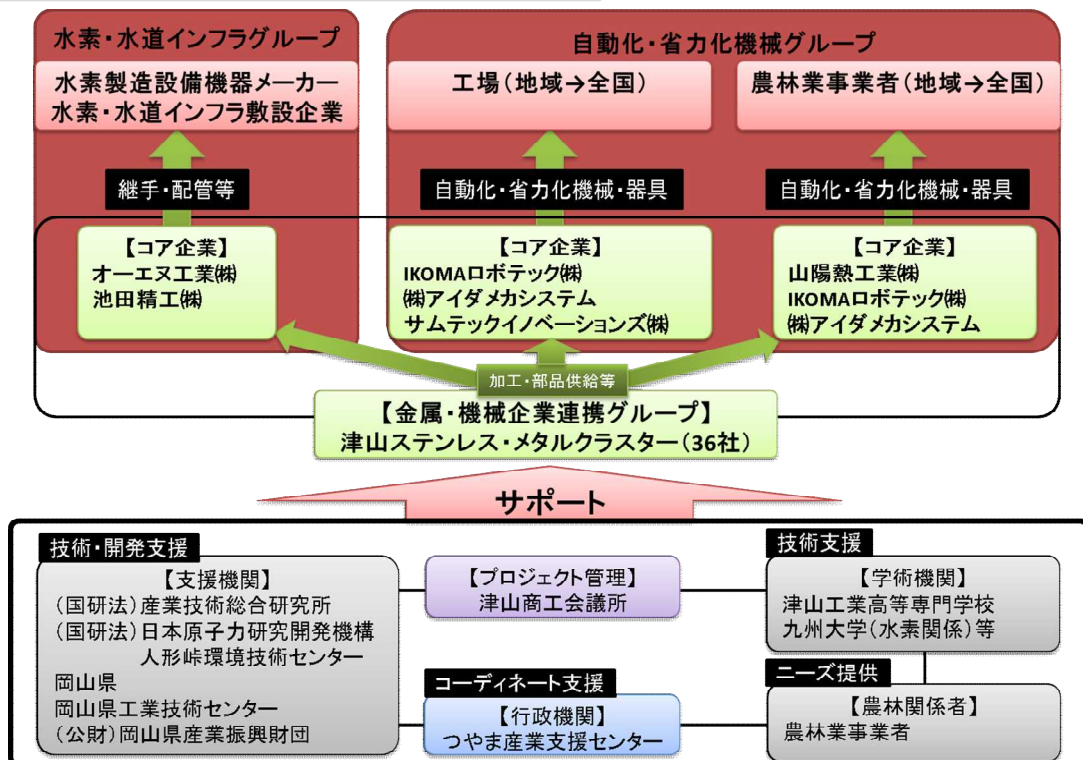
### 2. ニーズに基づく開発

市場調査(専門家訪問等)  
インフラ分野:信頼性  
自動化分野:生産性/コスト

### 3. 開発連携/生産連携

開発速度の向上  
連携によるリードタイムの短縮

## コンソーシアム又はグループの構成



#### ●連携コーディネーター

機関名・氏名：つやま産業支援センター 小坂 幸彦  
専門分野等：マーケティング、プロジェクトマネジメント  
役割：津山ステンレス・メタルクラスターの成長戦略のマネジメント  
各支援機関や専門家等のコーディネート

#### ●アドバイザー

機関名・氏名：つやま産業支援センターアドバイザー5名  
専門分野等：金属材料、生産管理(生産性向上、品質改善等)、自動化生産設備の設計・開発  
役割：企業の生産性の向上(自動化・省力化、I E、QC)サポート、金属製品、自動化機械等の研究開発サポート。顧客・市場ニーズの把握・情報提供等。

## コンソーシアムの決意表明

「津山ステンレス・メタルクラスター」の拡大、全国のインフラ及び製造業の高度化と自動化を支える存在への進化を目指します。